

施策番号 3-1-4	施策名 消費者の安全安心の確保	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		
		政策名	安全安心に暮らせる生活環境づくり		
主管課 商工観光課	施策関係課 住民生活課	課長名	佐藤三舟	内線	411

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
消費者被害の防止や食の安全安心に向けた体制づくりをすすめます。		町民	消費者の被害防止及び食の安全安心の確保				町民が安全で安心して暮らせる日常生活の確保	
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)	
① 消費者相談処理件数	芽室消費者協会 相談処理件数	件	192.0	195.0	177.0	200件程度を維持	200件程度を維持	
②								
③								
成果指標設定の考え方	消費者トラブルを未然防止のための相談と消費者トラブル後の相談件数を踏まえ、きめ細やかな相談体制を維持する必要があることから成果指標に設定。							

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	5,818	6,012
人工数(業務量)	0.0731	0.1270

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標は減少しているが、出前講座等の各啓発活動は大きく伸びてきていることから、消費者の防衛意識が高まったことによると考えられる。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・相談員の研修等による体制の充実強化を図る。 ・出前講座等の啓発活動、情報を積極的に発信していく。
(2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室町消費者協会運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・消費者を取り巻く環境は複雑多様化しており、SNSを利用した詐欺被害や通信トラブルも若年層に増えていることから、相談業務の強化は基より、小中学校への出前講座を実施するなど、啓発活動の充実強化を図っている。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	スマートフォンやタブレットの普及により、架空請求等のトラブルが増えている。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	消費者被害の防止や相談業務及び啓発活動の強化

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

課題①消費者相談の充実・啓発活動充実 多様化複雑化する消費者問題に対応し、消費者の安心安全の確保ために、消費者協会に委託している消費者相談業務を引き続き継続し、相談体制の充実強化を図る。
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	次の点から前進していると評価する。 ●消費者協会支援により消費者の被害防止をすすめている。 ●小中学校への出前講座を実施するなど、SNSを使った被害に合わないよう啓発している。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	継続してすすめてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	指標は順調に上昇しており、前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	●食の安全安心に向けての具体的な取り組みを進めると良いのではないか。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					